

# 山行報告書

作成: 2013年11月17日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	黒岳 [御坂山地]	目的[方法]	新雪の富士山展望、300名山
期間	2013年11月15, 16日(金土)	形態	前夜発日帰り
参加人数	3人		

## 行動記録:

◇11/15(金) 岡崎市集合地(20:00) == 岡崎IC== 東名 新東名==御殿場IC(22:30) ==須IC==富士吉田IC==  
天下茶屋P(12:00)

◇11/16(土) 起床(5:30)-天下茶屋登山口(7:10)-御坂山-御坂峠-黒岳(10:20, 11:10)-御坂山-登山口(13:45,  
14:30) ==河口湖温泉寺(15:40, 16:40) ==新富士IC(18:30) ==岡崎IC==集合地(21:00)

## 概念図:



## 日誌:

天下茶屋駐車場に深夜に到着。富士山を撮影するためのカメラマンの車が5, 6台路上駐車していました。登山口前に隙間を見つけて、テントを張りました。夜中、カメラマンの車が次々来たり出て行ったりでエンジン音がうるさかったです。

天下茶屋にトイレはありましたが、店が営業中のみ利用可能(朝起きてから知る)なため、起床後に三つ峠山登山口の公衆トイレまで戻りました。

天気は申し分なく、雲一つない青空。黒岳山頂までは両脇に木々がありますが、葉が落ちているため隙間から富士山が見え隠れし所々で富士山側が開け河口湖と富士山を眺めることができます。

御坂山も黒岳も山頂は眺望がよくありませんが、黒岳から200m先に展望台があり富士はもちろん、南アルプスを眺めることができました。

計画では、黒岳の先の破風山まで行き大石からタクシーで戻る予定でしたが、諸事情によりピストンとなりました。

下山後、茶店で太宰治も食べたであろう名物ほうとう鍋をいただきました。

河口湖温泉寺という和風立寄り湯を利用・・・一人1,000円(シャンプーのみ、リンスはありませんでした)

## 感想:

新東名の清水SAを過ぎたあたり、夜、真っ暗な空にうっすら白い富士山が浮かび、とても神秘的で感激！！しました。

寒くなってからの山行は初めてで、リーダーから「就寝時の防寒はしっかりと」と言われていましたが、テントの中はそんなに寒くなく、少し厚着してシュラフに入りましたが、数時間後にお尻、背中が冷えてきて、なかなか眠れませんでした。朝起きてからHさんの靴下を見せてもらうと何枚も重ねて履いてびっくりしました。「いっぱい着て夜中暑くなれば脱げばいいけど、寒いと寝れないからね」と教えてもらいました。

参加者名	
------	--